作成･改定日　2008/08/23

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名　接着剤（ゴム系）

会社名　株式会社ヒットマテリアル
住所　東京都中央区日本橋堀留町1-3-12-201　日本橋三越前アムフラット
電話番号　03-5847-7197
FAX番号　03-5847-7198
整理番号　1.0

2. 組成、成分情報

単一製品／混合物の区分　混合物

化学名又は一般名	含有量	化学特性（化学式）	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	CAS番号
1. 酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ	4～5%	$CH_3COO(CH_2)_3CH_3$	(化審法)：(2)-731 (安衛法)：2-(6)-226	123-86-4
2. ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ ｸﾞﾘｺｰﾙ ﾓﾉﾒﾁﾙ ｴｰﾃﾙ ｱｾﾀｰﾄ (PMA)	4～5%	$C_6H_{12}O_3$	(2)-3144	108-65-6
3. 2-ﾌﾞﾀﾉﾝ (MEK)	50～55%	$CH_3CH_2COCH_3$	(2)-542	78-93-3
4. ｱｾﾄﾝ	14～16%	CH_3COCH_3	(2)-542	67-64-1
5. ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂	24～26%	—	—	—

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性：　吸入および皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
蒸気により眠気とめまいを生じる恐れがある。

物理的及び化学的危険性：　引火性がある。
熱、火花及び火炎で着火することがある。

主要な徴候：　頭痛，めまい，吐き気，し眠

分類の名称：　引火性液体，急性毒性物質
（分類基準は日本式）

4. 応急措置

吸入した場合：　空気の清浄な場所で保温して安静にする。 直ちに医療措置を受ける手配をする。必要に応じて、酸素吸入または、人工呼吸を行う。嘔吐がある場合は頭を横向きにする。

皮膚に付着した場合：　汚染された衣類などを速やかに脱ぎ捨てる。 製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。 石鹸を使ってよく落とす。 外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。

目に入った場合：　直ちに最低15分間は多量の水で洗い流し、まぶたを開いて内側も洗浄する。直ちに医療措置を受ける手配をする。

飲み込んだ場合：　口の中を洗浄する。無理に吐かせない。直ちに医療措置を受ける手配をする。

応急措置をする者の保護：　救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末消火剤、泡、水噴霧、二酸化炭素

火災時の特定危険有害性： 燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

特定の消火方法： 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
燃焼源の供給を速やかに止める。
水噴霧して容器を冷却する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 個人用保護具を着用する。
漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。
十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
蒸気は空気より重いため、床面を沿って移動し、遠距離引火する場合があるので注意する。

環境に対する注意事項： 製品が排水路に排出されないよう注意する。

除去方法： 湿らせた吸収材料で覆い、シャベルなどを用いて空容器に回収する。
付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

二次災害の防止策： 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

7　取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 取扱いは換気のよい場所で行う。
適切な保護具を着用する。
漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
静電気対策を行う。
設備などは防爆型を用いる。
取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項： 取扱う場合は、局所排気内で取扱う。 エアゾールが発生しないように取扱う。

安全取扱い注意事項： 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件： 火気厳禁。
容器を密栓した後、冷暗所に保管する。（5℃～40℃）
火気や熱源などの着火源から遠ざける。
酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料： 法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 屋内作業の場合には、蒸気の発散源を密閉する設備又は局所排気装置を設置しなければならない。（有機溶剤中毒予防規則）
取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度： 150 ppm（酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ）, 200 ppm（MEK）, 750 ppm（ｱｾﾄﾝ）

許容濃度：　(酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ)
ACGIH TLV : TWA 150 ppm, STEL 200 ppm
OSHA PEL : 8H TWA 150 ppm
日本産業衛生学会勧告値 100 ppm
(MEK)
ACGIH TLV : TWA 200 ppm, STEL 300 ppm
OSHA PEL : 8H TWA 200 ppm
日本産業衛生学会勧告値 200 ppm
(ｱｾﾄﾝ)
ACGIH TLV : TWA 500 ppm, STEL 700 ppm
OSHA PEL : 8H TWA 1000 ppm
日本産業衛生学会勧告値 200 ppm

保護具

呼吸器用の保護具：　有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器、送気式マスク。
手の保護具：　保護手袋。
目の保護具：　保護眼鏡（ゴーグル型）。状況に応じ保護面。
皮膚及び身体の保護具：　保護衣。状況に応じ、前掛け、長靴等。

適切な衛生対策：　取扱い後は、手洗いを十分に行う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態
形状：　液体
色：　微黄色透明
臭い：　PMA様臭
pH：　情報なし
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
沸点/沸騰範囲：　90～126℃ (Open Cup)
引火点：　-18～22℃
爆発特性
爆発限界 下限：　2.6%
爆発限界 上限：　12.7%
蒸気圧：　8.0～24kPa
蒸気密度：　1.5～2.0
密度：　0.86～0.96 (水=1)
溶解性：　不溶：水
オクタノール/水分配係数：　1.82 (酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ), 0.29 (MEK), -0.24 (ｱｾﾄﾝ)

10. 安定性及び反応性

安定性：　通常の取扱い条件においては安定。
引火性が強く、燃焼しやすい。蒸気は地面あるいは床に沿って移動することがあり、遠距離引火の可能性がある。
蒸気は空気と混合して爆発性の混合ガスを形成する危険性がある。
反応性：　高温により分解する。
避けるべき条件：　5℃以下での保管
避けるべき材料：　酸化剤, 強酸, 強アルカリ
危険有害な分解生成物：　一酸化炭素, 二酸化炭素, 窒素酸化物, イソシアナート化合物, シアン化合物

11. 有害性情報

急性毒性：

中枢神経系に影響を与えることがある。
急性毒性データが報告されている。
(酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ)
orl-rat LD50:10768 mg/kg
skn-rbt LD50:>17600 mg/kg
ihl-rat LC50:390 ppm/4H
(PMA)
orl-rat LD50:8532 mg/kg
skn-rbt LD50:>5 g/kg
(MEK)
orl-rat LD50:2737 mg/kg
skn-rbt LD50:6480 mg/kg
ihl-rat LC50:23500 mg/m^3/8H
(ｱｾﾄﾝ)
orl-rat LD50:5800 mg/kg
ihl-rat LC50:2857 mg/m^3/8H

局所効果：

長時間の皮膚との接触により、刺激作用を示すことがある。
皮膚や眼に対しての刺激性データが報告されている。
(酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ)
eye-hmn 300 ppm
skn-rbt 500 mg/24H SEV
(PMA)
eye-hmn 350 ppm
skn-rbt 500 mg/24H MOD
(ｱｾﾄﾝ)
eye-hmn 500 ppm
skn-rbt 395 mg open MLD

変異原性：

変異原性のデータが報告されている。
(MEK)
sln-smc:33800 ppm
(ｱｾﾄﾝ)
cyt-ham-fbr 40g/L
sln-smc:47600 ppm

催奇形性：

催奇形性のデータが報告されている。
(酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ)
ihl-rat TCLo:1500 ppm/7H (7-16D preg)
(MEK)
ihl-rat TCLo:1000 ppm/7H (6-15D preg)

生殖毒性：

生殖毒性のデータが報告されている。
(MEK)
ihl-mus TCLo:3000 ppm/7H (6-15D preg)
(ｱｾﾄﾝ)
orl-rat TDLo:273 g/kg (13W male)

その他：

記載のデータは、RTECSより抜粋しております。これら以外のデータや更に詳細な情報につきましては、原本をご参照ください。
〔RTECS番号： AF7350000 (酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ), AI8925000 (PMA),
EL6475000 (MEK), AL3150000 (ｱｾﾄﾝ)〕

12. 環境影響情報

移動性：

情報なし

残留性/分解性：

情報なし

生体蓄積性：　濃縮性に関するデータが報告されている。
・BCF：1（計算値）（MEK）

生態毒性：　生態毒性のデータが報告されている。
(PMA)
・魚類 96h LC50:>100 mg/L (Oryzias latipes)
・甲殻類 48h EC50:370 mg/L (Daphnia magna)
・藻類 72h EC50:>1000 mg/L (Selenastrum capricornutum)
(MEK)
・魚類 96h LC50:>100 mg/L (Oryzias latipes)
・甲殻類 48h EC50:>1000 mg/L (Daphnia magna)
・藻類 72h EC50:570 mg/L (Selenastrum capricornutum)

その他の情報：　オクタノール/水分配係数：1.82（酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ）
：0.29（MEK）
：-0.24（ｱｾﾄﾝ）
ヘンリー定数：4.8 PaM^3/mol（MEK）
：3.7 PaM^3/mol（計算値）（ｱｾﾄﾝ）
土壌吸着係数(Koc)：29～34（計算値）（酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ）

13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。
地方条例や国内規制に従う。
焼却処理する場合には、アフターバーナーおよびスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。
空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類：　ｸﾗｽ3(引火性液体)
国連番号：　1866
正式輸送品目名：　Resin solution
包装等級：　Ⅱ
輸送の特定の安全対策及び条件：　運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行い、消防法などの法令に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法：　第4類　第二石油類　危険等級Ⅲ
船舶安全法：　危規則危険物告示　別表第1　中引火点引火性液体
労働安全衛生法：　有機溶剤中毒予防規則　第2種有機溶剤等
施行令　別表第1　危険物　（引火性のもの）
施行令第18条　表示物質（酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ, MEK, ｱｾﾄﾝ）
施行令第18条の2　名称等を通知すべき有害物（酢酸 n-ﾌﾞﾁﾙ, MEK, ｱｾﾄﾝ）

16. その他の情報

参考文献：

・産業中毒便覧　増補版、後藤稠　他編、医歯薬出版（1994）
・化審法の既存化学物質安全性点検データ集
・国際化学物質安全性カード（ICSC：International Chemical Safety Cards), ILO
・１４７０５の化学商品、化学工業日報社（2005）
・Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS), NIOSH(CD-ROM版)
・The Hazardous Substances Data Bank (HSDB), NLM(CD-ROM版)
・Sax's Dangerous Properties of Industrial Materials 10th ed., R.J.Lewis, Sr., Van Nostrand Reinhold(CD-ROM版)
・The MERCK INDEX 13th ed., Merck & Co., Inc., Chapman & Hall(CD-ROM版)
・Dictionary of Organic Compound, Chapman & Hall(CD-ROM版)

記載内容の問い合わせ先

会社名：　株式会社ヒットマテリアル
住所：　東京都中央区日本橋堀留町1-3-12-201　日本橋三越前アムフラット
電話番号：　03-5847-7197
FAX番号：　03-5847-7198

・このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。
ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので万一ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談ください。
また記載の注意事項は通常の取扱を対象としたものであって、特別な取扱をする場合は状況に適した安全対策を実施の上、充分な注意を払う必要があります。
すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』という認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の指導のもとで取扱うことを警告します。
ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。